国際観光学科 1年 前期 総合科目

1. 初年次セミナー
2. アカデミックライティング
3. 地域つくりかえ学
4. 生涯スポーツ実技
5. 日本語表現技法
6. プレゼンテーション演習(日英)
7. Foundation English Skills
8. TOEIC Productive Skills
9. TOEIC Receptive Skills

国際観光学科

科目名: 初年次セミナー				担当教員 氏名: 米田晶、鷹西恒、齋藤望、Tim Saito					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 両教員の豊富な社会経験を活かし、実社会に適用する技能、考え方について教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
初年次前期において、国際観光学科卒業後に想定されるキャリア、レポートの作成方法とアカデミックルール、図書館など短大内施設、学园内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどを学ぶ。また海外インターン実習を意識した雇用訓練(Employability)も行う					社会人、Employability				
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1、2、4						
A 知識・理解力			短大内施設、学园内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどの知識を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。						
E 自己管理能力			短大内施設、学园内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどを理解し、自ら行動することができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	30 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	70 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストはない。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: その都度、指導教員と相談する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①【全員】ガイダンス(ホームルーム)				4月10日(月)4限	配布資料の復習	60分			
②【米田】図書館の使い方 ※荷物をもって図書館に集合してください				4月17日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
③【米田】ビブリオバトルのルールと方法				4月24日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
④【鷹西】アクティビティ: 主体的な学びを促進する技法				5月1日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑤【鷹西】レポートの書き方				5月8日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑥【Tim】Time management and organization skills				5月15日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑦【齋藤】Wordの使い方				5月22日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑧【Tim】Metacognitive, critical thinking, and problem-solving skills				5月29日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑨【米田】PROGテスト結果解説				5月31日(水)3限	配布資料の予復習	60分			
⑩【米田】PROGテスト結果解説				5月31日(水)4限	配布資料の予復習	60分			
⑪【鷹西】コミュニケーション演習①共感的理解				6月5日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑫【齋藤】Power Pointの使い方				6月12日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑬【Tim】Teamwork and collaboration skills				6月19日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑭【齋藤】自己管理能力(セルフコントロールほか)				6月26日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
⑮【鷹西】コミュニケーション演習②異文化と価値観				7月3日(月)4限	配布資料の予復習	60分			
使用テキスト: なし				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): これからの社会で、自分の頭で考え、課題を整理し、解決まで持っていける力を身に着けることは重要です。このセミナーはその入門編です。									

国際観光学科

科目名: アカデミックライティング			担当教員 氏名: 齋藤 望 米田 晶 鷹西 恒						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード			
授業やレポート、研究等で、論理的な文章を書くことが必要になります。その際に文章力および思考力を身につけることは必須です。授業では文章作成をはじめ輪読やクラスメンバーとの対話、文法の点検、協働作業を通してしっかりと読み手に伝わる文章とは何かを考えていきます。						文章作成 コミュニケーション 共感			
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力	序論・本論・結論から構成される文章を書くことができる。								
C 論理的思考力	文章作成等を通して論理的に考える力を修得する。								
D 問題解決力	広い視野で問題を捉え、解決していく力を身につける。								
H コミュニケーション力	演習を通して協働の方法を理解することができる。								
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: その他とは出席率や学習への取り組み姿勢(提出物等)、態度のことである。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適時、発表、レポート等で評価を実施する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート等返却時のコメントによってアドバイスを行う。									
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)					
				学修内容	学修に必要な時間(分)				
①【齋藤・鷹西・米田】オリエンテーション(授業内容と評価方法の説明)				【予習・復習】シラバス確認等	【予習】120分	【復習】120分			
②【齋藤】輪読(読む力を鍛える): 本や新聞等を読んで意見を発表する				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
③【齋藤】意見文(批評): 新聞等を読んで自分の意見を書く				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
④【齋藤】おすすめの一冊: 図書館でみつけた一冊を発表する				【予習・復習】文献検索、レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑤【齋藤】書評を書く				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑥【米田】レポート、論文作成の技法				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑦【米田】問いの分析: 問の立て方、課題に関する情報収集と情報整理、構想を練る				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑧【米田】文献研究: 探し方、読み方、まとめ方				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑨【米田】倫理: なぜ必要なのか考えてみよう				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑩【米田】論文作成の基礎知識				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑪【鷹西】【2000字レポートの作成】 テーマ選び				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑫【鷹西】【2000字レポートの作成】 アウトライン 文献検索				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑬【鷹西】【2000字レポートの作成】 序論、本論、結論				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑭【鷹西】【2000字レポートの作成】 文章校正				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
⑮【齋藤・鷹西・米田】まとめ(発表、相互評価)				【予習・復習】レポート作成	【予習】120分	【復習】120分			
使用テキスト: なし				その他参考文献など: 「論文・レポートの基本」 日本実業出版社 石黒 圭					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業の資料配付や課題レポート作成でGoogle classroomを使用します。									

国際観光学科

科目名: 地域づくりかえ学			担当教員 氏名: 米田 晶、長谷川雅美、中村 尚紀 他			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: それぞれの分野現場における実務経験を活かして、肌で感じることのできる理解を深めていく。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、本学の教育目標である、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高めることを目標とする。国際観光学科では地域創生のために地域で活躍する人々に触れ、地域の課題やコミュニケーションのあり方を学ぶことにより、アドベンチャーツーリズム、食のツーリズムが必要となる社会的背景を学ぶ機会とする。					「つくり、つくりかえ、つくる」、「私」宣言、 地域社会、実践躬行	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 10	
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。			
E 自己管理能力			自らを律して行動できる。			
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる			
F チームワーク・リーダーシップ			他者と協調・協働して行動できる。また他者に方向性を示し、目標のために動員できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 33 %	発表:	%	実技試験:	%
その他: 67 %						
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:「つくりかえレポート」は第7回に課す。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜AD面談等を行い、返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【齋藤】建学の精神、教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」と週フォリオ				4月11日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
②【長谷川】主体的に学ぶ、倫理的思考について ※看護学科と合同授業(2-201)				4月18日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
③【中村】ボランティア活動で自分発見				4月25日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
④【永井】地域連携の重要性・必要性				5月2日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
⑤【堀】地域の魅力再発見				5月9日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
⑥【宮越】自己対話を見つめ直そう1(コーチング)				5月16日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
⑦【宮越】自己対話を見つめ直そう2(コーチング)				5月23日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
⑧【鷹西】他者を理解する				5月30日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
⑨【鷹西】自分史について語ってみよう(ライフストーリー)				6月6日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
⑩【鷹西】自己覚知				6月20日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
⑪【米田】非認知能力の重要性と次年度科目「富山コミュニティ論」の概要				6月27日4限	【復習】学習振り返り、レポート	120分
使用テキスト: 学生ハンドブック(第2回「教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」と週フォリオ」で使用します)				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。						

社会福祉学科・国際観光学科

科目名： 生涯スポーツ実技				担当教員 氏名： 小川 耕平		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのよ健康運動指導士として、健康づくりの指導をしていたことから、実践から継続につなげるための意欲の向上 うな授業を行っているか： について重点的に指導するようにしている						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
生涯を通じ体を動かすための知識と技術を習得する。また、集団で活動することでコ ミュニケーション能力の構築も実践する					・生涯スポーツ ・コミュニケーション ・体験学習	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			生涯スポーツに必要な知識について理解する			
D 問題解決力			様々な状況に応じて各人が判断する能力を高める			
F チームワーク・リーダーシップ			チームメイトと協力して実技を行う			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：	%	レポート：	%	発表：	%	実技試験： 50 % その他： 50 %
特記事項：						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 集中講義への参加必須						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な 時間(分)
①オリエンテーション・コミュニケーションゲーム					復習：自らのスポーツ歴について理解する	15分
②体力測定					復習：体力向上のための目標設定	15分
③球技(ビーチボール基本練習)					予習：ビーチボールのルールを理解する	15分
④球技(ビーチボールリーグ戦)					復習：ボールゲームの実践	15分
⑤球技(ビーチボールリーグ戦)					復習：ボールゲームの実践	15分
⑥軽登山					復習：歩き方について考える	15分
⑦軽登山					復習：軽登山中の身体の変化を考える	15分
⑧軽登山					復習：スポーツ実践の効果を考える	15分
使用テキスト： 特になし。					その他参考文献など：運動とスポーツの生理学	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・実技の時は、アクセサリーを外し、動きやすい服装で参加すること。 ・1泊2日の集中講義(夏休み期間)での実施になります。場所：山野スポーツセンター 費用：6,000円程度						

国際観光学科・社会福祉学科

科目名: 日本語表現技法				担当教員 氏名: 宮城 信		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 中高教員だった経験を活かして、教え方(伝え方)についての実践的な授業を実施する。						
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード
日本語で表現することは、自己を表現することである。文章や会話を通して自己のありようが見れることから、適切に伝えるための日本語表現の基礎・基本を学ぶとともに、他者との関係を豊かにする自己表現のための態度を養う。						表現、文章の書き方、コミュニケーション、討議法
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			知識を体系的化し理解できる。			
B 専門的技術			日本語を使った自己実現に活用できる。			
E 自己管理能力			自らを律して表現活動ができる。			
H コミュニケーション力			言語や身体を用いて自己・他者の正しい理解を深めることができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 20 %		発表: 15 %	実技試験: %	その他: 15 %
特記事項: ・上記「その他」には、小テスト・授業中の話し合い活動への積極的な参加状況の評価が含まれる。 ・授業の課題として、3回程度のレポートを課す。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 <u>ディスカッション</u> 、 <u>ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小課題を課す。最終試験は定められた日時に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題に対してコメントを付す。課題・評価に関する質問は随時受け付ける。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な 時間(分)	
①ガイダンス「日本語」で考える～伝わるとはということか				【復習】授業内容の確認及び課題		【復習】120分
②文章表現法(1)文章を書くときの発想と語彙				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
③文章表現法(2)表現の型・文章構成の型				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
④文章表現法(3)説明する文章の書き方				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑤文章表現法(4)主張する文章の書き方				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑥ディベート演習(1)ディベートの基礎・討論ゲーム				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑦ディベート演習(2)論理的思考・批判的思考・論の立て方				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑧ミニミニディベート/学修のまとめ				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
使用テキスト:				その他参考文献など: なし。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・毎時間話し合い活動を組み込む。積極的に参加すること。 ・課題には真剣に取り組み、提出期限を遵守すること。						

国際観光学科					
科目名: プレゼンテーション演習(日英)			担当教員 氏名: 齋藤 望、齋藤 ティム		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのよ 国内外の学術や仕事での様々な経験から、聴衆を魅了するプレゼンテーション(日本語および英語)の基礎 うな授業を行っているか: と応用(演習含む)について講義をする。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
学生自らのアイデアや考えをまとめ、論理的に整理し、聞き手に伝わるプレゼンテーション能力を身につけることを目的としている。短大の2年間の授業では、多数のプレゼンテーションの機会があり、短大卒業後の進路でも重要になるスキルの一つである。日本語および英語のプレゼンテーションに必要な基礎的な知識やスキルを身につけ、演習を通して実践的に習得する。					コミュニケーション能力、自己表現力、プレゼンテーションのマナーやスキル
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1, 2, 5, 8			
A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。				
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。				
E 自己管理能力	自らを律して行動できる。				
H コミュニケーション力	言語や、身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: %	発表: 80 %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> 、 <u>ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: プレゼンテーションやレポート課題を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: クラスの進み具合に合わせて、フレキシブルに対応する。プレゼンテーション及びレポートへのコメントやアドバイスは個別に対応する。					
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)			
		学習内容		学習に必要な 時間(分)	
①イントロダクション: プレゼンテーションの意義と必要性とは?		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
②プレゼンテーションの基礎知識(日本語)①		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
③プレゼンテーションの基礎スキル(日本語)②		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
④プレゼンテーションの演習(日本語)①		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑤プレゼンテーションの演習(日本語)②		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑥プレゼンテーションの演習(日本語)③		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑦プレゼンテーションの演習(日本語)④		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑧中間まとめ		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑨プレゼンテーションの基礎知識(英語)①		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑩プレゼンテーションの基礎スキル(英語)②		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑪プレゼンテーションの演習(英語)①		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑫プレゼンテーションの演習(英語)②		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑬プレゼンテーションの演習(英語)③		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑭プレゼンテーションの演習(英語)④		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
⑮まとめ		【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分		
使用テキスト: 適宜資料配布			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)					

国際観光学科

科目名: Foundation English Skills			担当教員 氏名: 齋藤 ティム、齋藤 望		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: A native Japanese and native English speaker will coordinate in this subject to deliver essential understandings in L1 and additional, contextual practice with a pragmatic focus in L2.					
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード
The goal of this foundational English course is to achieve proficiency regarding core skills in English language, primarily: grammar, vocabulary, listening, and discussion. The syllabus aims to develop students' ability to communicate in English in a variety of simple daily contexts and for practical purposes. Additionally, this course aims to foster an appreciation for cultural aspects of the English language.					Basic English Communication Skills Basic Grammar Skills
授業における学修の到達目標					
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)					
A 知識・理解力		Knowledge of core English concepts will allow students to make statements about themselves, recall events and express intentionality.			
F チームワーク・リーダーシップ		Small groups are integral in facilitating understanding, expressing personal perspectives on select topics, and reflecting on subject-specific content .			
H コミュニケーション力		Communicating clearly is important whether you are communicating with your boss, a colleague, a teacher, or a friend. In language learning unclear, vague communication can lead to misunderstandings. This course will address contextually appropriate tone and register for communication.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %	
特記事項: Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストとインタビューを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストとインタビューのフィードバックは、個別に指導する。					
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)		
			学修内容	学修に必要な時間(分)	
① Unit 1: Talking about yourself, Unit 2: Talking about routines, Unit 3: Today I'm wearing...			対象Unitの予習・復習	90分	
② Unit 4: What's happening?, Unit 5: Types of verbs, Unit 6: Vocabulary			対象Unitの予習・復習	90分	
③ Unit 7: How are you feeling?, Unit 8: Vocabulary, Unit 9: Routines and exceptions			対象Unitの予習・復習	90分	
④ Unit 10: Vocabulary, Unit 11: What's the matter?, Unit 12: Vocabulary			対象Unitの予習・復習	90分	
⑤ Unit 13: What's the weather like? Unit 14: Vocabulary, Unit 15: Making comparisons			対象Unitの予習・復習	90分	
⑥ Unit 16: Talking about extremes, Unit 17: Vocabulary, Unit 18: Making choices			対象Unitの予習・復習	90分	
⑦ Unit 19: Using large numbers, Unit 20: Vocabulary, Unit 21: Talking about dates			対象Unitの予習・復習	90分	
⑧ Review			全体の復習	90分	
⑨ Unit 22: Talking about the past, Unit 23: Past events, Unit 24: Past abilities			対象Unitの予習・復習	90分	
⑩ Unit 25: Vocabulary, Unit 26: Irregular past verbs, Unit 27: Vocabulary			対象Unitの予習・復習	90分	
⑪ Unit 28: Telling a story, Unit 29: Asking about the past, Unit 30: Applying for a job			対象Unitの予習・復習	90分	
⑫ Unit 31: Types of questions, Unit 32: Someone, anyone, everyone, Unit 33: Making conversation			対象Unitの予習・復習	90分	
⑬ Unit 34: Vocabulary, Unit 36: Plans and intentions, Unit 37: What's going to happen			対象Unitの予習・復習	90分	
⑭ Unit 38: Vocabulary, Unit 39: Making predictions, Unit 40: Making quick decisions			対象Unitの予習・復習	90分	
⑮ Final Review			全体の復習	90分	
使用テキスト: •English for Everyone: Level 2: Beginner, Course Book: A Complete Self-Study Program, DK: Illustrated edition ISBN: 978-1465451835			その他参考文献など: •English for Everyone: Level 2: Beginner, Practice Book: A Complete Self-Study Program •English for Everyone: English Grammar Guide: A Comprehensive Visual Reference •English for Everyone Grammar Guide Practice Book		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Don't get discouraged, learning a new language takes time and effort but it is a rewarding journey. Keep up the good work, and remember to study often at regular intervals to make the most progress.					

国際観光学科

科目名: TOEIC Productive Skills			担当教員 氏名: 齋藤 ティム		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	総合科目	講義	必修
<p>実務経験をいってどのような授業を行っているか: Having taught in a variety of multicultural environments the instructor is well qualified to provide practical advice on the nuance of world Englishes, specifically: Australia, British, Canadian and US variations. This understanding is critical to the TOEIC test.</p>					
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード
<p>The aim of this TOEIC Productive course is to provide students with skills and strategies to effectively communicate in English. The course will focus on developing students' ability to respond to spoken English. Through a combination of listening and speaking activities, students will improve their pronunciation, and fluency, and learn to express their thoughts and ideas. The course will help students achieve improve their score on the TOEIC Speaking exam.</p>					<p>Speaking, Communication Expressing personal opinion Pronunciation, Fluency, Expression Test Preparation</p>
授業における学修の到達目標					
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)					
A 知識・理解力		This course will build on students' knowledge of English in a variety of contexts, including social, academic, and professional settings.			
F チームワーク・リーダーシップ		Students will work effectively with others, to share ideas and collaborate. They also take on leadership roles in group discussions and activities, such as leading a conversation.			
H コミュニケーション力		Students will how to express themselves logically, clearly and effectively, how to respond to stimuli appropriately and how to provide evidence to support their positions.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 25 %		レポート: %		発表: 60 %	
				実技試験: %	
				その他: 15 %	
<p>特記事項: Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.</p>					
アクティブラーニング要素:					
課題解決型学修: ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク					
<p>テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 音声録音タスク、スピーキングテストと発表を行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。</p>					
<p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 発表結果のマトリクス、テストの成績と課題にフィードバックは、個別に指導する。</p>					
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)		
			学修内容	学修に必要な時間(分)	
① Introduction to TOEIC Productive Skills			Time management and Test-taking strategies		90分
② Unit 1: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Read a text aloud			【予習】教科書第1章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
③ Unit 2: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Describe a picture			【予習】教科書第2章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
④ Unit 3: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Describe a picture			【予習】教科書第3章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑤ Unit 4: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Respond to questions			【予習】教科書第4章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑥ Unit 5: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Respond to questions			【予習】教科書第5章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑦ Simulated Speaking Test			Part 1 - 3 of the TOEIC Speaking Test		90分
⑧ Unit 6: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Respond to questions using information provided			【予習】教科書第6章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑨ Unit 7: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Respond to questions using information provided			【予習】教科書第7章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑩ Unit 8: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Express an opinion			【予習】教科書第8章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑪ Unit 9: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Express an opinion			【予習】教科書第9章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑫ Unit 10: Section A, Let's Talk 1 and 2 TOEIC Speaking Target: Express an opinion			【予習】教科書第10章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		90分
⑬ Presentation Production			Argument skills focus: development and cohesion		90分
⑭ Presentation Refinement			Verbal and Non-verbal micro skills focus		90分
⑮ Opinionative Speech about a social issue			Concurrent Listening Comprehension & Peer Review		90分
<p>使用テキスト: ・NEW TOEIC® Skills 1 ISBN: 978-1785470813</p>			<p>その他参考文献など: ・日本人がはまりがちな英語の落とし穴</p>		
<p>受講上の留意点(担当者からのメッセージ): How do you speak English? Set your language goals, Learn common vocabulary, Find a style that works for you, Practice speaking, Connect with a native speaker, Consume media, and Engage with the culture!</p>					

国際観光学科

科目名: TOEIC Receptive Skills				担当教員 氏名: 齋藤 ティム	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	総合科目	講義	必修	
<p>実務経験を用いてどのような授業を行っているか: A native speaker of English can provide a deeper understanding of the nuance of the language and culture which affect language choices which improves student's comprehension. The instructor has demonstrated familiarity with a wide range of teaching methods and techniques for developing listening and reading skills in conversation schools, high schools, and business classes.</p>					
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード
Active listening and reading comprehension are important in language learning because they help learners to understand spoken and written language in context. By actively listening, learners can improve their ability to identify and understand individual words and phrases. Reading comprehension, on the other hand, helps learners to understand written language and build vocabulary. Consequently, the development of these two skills is the focus of the TOEIC Receptive Skills course.					Reading comprehension, Active listening Identifying main ideas and details Understanding purpose, tone and intent
授業における学修の到達目標					
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)					
A 知識・理解力	Students will learn to identify and understand main points, supporting details and inferences in a text. Also, they will consider the relationships between ideas and concepts in a text. This skill is useful beyond L2 acquisition.				
F チームワーク・リーダーシップ	The students will collaborate to share their collective understanding of the texts and enhance the group's comprehension of the material.				
H コミュニケーション力	Students will adopt new grammar and vocabulary as they encounter them in materials and increase the sophistication of their communication.				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 60 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 40 %	
特記事項: Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ティスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 短いテスト、語彙テスト、読解力と聴解力のテストと課題を行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストの成績と課題にフィードバックは、個別に指導する。					
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)		
			学修内容	学修に必要な時間(分)	
① Introduction to TOEIC Receptive Skills			Time management and Test-taking strategies	90分	
② Unit 1: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Incomplete Sentences (R), Photographs			【予習】教科書第1章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
③ Unit 2: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Incomplete Sentences (R), Photographs (L)			【予習】教科書第2章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
④ Unit 3: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Incomplete Sentences (R), Question-Response (L)			【予習】教科書第3章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑤ Unit 4: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Text Completion (R), Question-Response (L)			【予習】教科書第4章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑥ Unit 5: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Text Completion (R), Question-Response (L)			【予習】教科書第5章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑦ Simulated Listening & Reading Test			Part 1, 2, 5 and 6 of the TOEIC Listening & Reading Test	90分	
⑧ Unit 6: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Single Passages (R), Conversations (L)			【予習】教科書第6章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑨ Unit 7: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Single Passages (R), Conversations (L)			【予習】教科書第7章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑩ Unit 8: Section B, Listening 1 & 2			【予習】教科書第8章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑪ Unit 9: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Single Passages (R), Narrations (L)			【予習】教科書第9章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑫ Unit 10: Section B, Listening 1 & 2 TOEIC Target: Single Passages (R), Narrations (L)			【予習】教科書第10章を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
⑬ Listening Comprehension Quiz			TOEIC Listening Questions, Peer Review & Reflection	90分	
⑭ Reading Comprehension Quiz			TOEIC Reading Questions, Peer Review & Reflection	90分	
⑮ Additional Test-taking strategies for listening and reading comprehension			【復習】重要事項の整理とまとめ	90分	
使用テキスト: ・NEW TOEIC® Skills 1 ISBN: 978-1785470813			その他参考文献など: ・キクタンTOEIC(R) L&Rテスト SCORE 600		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Let's try to understand the main idea and key information, instead of focusing on every single word. This will help you to understand the overall meaning of the text and improve your ability to comprehend.					